

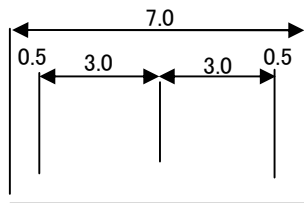
道路事業事前評価調査書

路線・河川等名	<small>まいづるあやべふくちやま</small> 主要地方道舞鶴綾部福知山線	事業名	防災・安全交付金事業	補助・単独の別	補助
事業主体	京都府	事業箇所（区間）	綾部市私市町～福知山市私市 地内		
事業概要	目的	<p>主要地方道舞鶴綾部福知山線は、京都府北部の舞鶴市から綾部市を経て、福知山に至る重要な幹線道路である。</p> <p>本事業箇所は、中丹支援学校の通学路になっているが、歩道が未整備であるため、歩行者・自転車と通過車両が錯綜していることから、「通学路交通安全プログラム」に基づく要対策箇所となっている。このため、歩道の整備を行い、通学児童等の安全性向上と車両通行の円滑化を図るものである。</p>			
	内容	<p>整備延長：L＝ 550m 現況幅員：W＝ 7.0m 2車線、歩道：なし 計画幅員：W＝ 6.0（11.0）m 2車線、歩道：片側3.5m 事業費：約2.1億円</p>			
	上位計画等	<p>明日の京都（中期計画） 社会資本総合整備計画 通学路交通安全プログラム（綾部市）</p>			
	スケジュール	<p>着手年度：平成29年度 完成目標：平成33年度</p>			
事業の必要性	事業を巡る社会経済情勢及び地元情勢等	<ul style="list-style-type: none"> ○ 自動車交通量 11,303台/日（H22） ○ 自転車交通量 160台/日（H22） ○ 歩行者交通量 76人/日（H22） ○ 現況の道路は歩道がなく、歩行車や自転車が路肩からはみ出して通行しており、安全で円滑な通行ができない状況。 ○ 中丹支援学校の通学路となっていることから、通学路交通安全プログラムの要対策箇所に位置付けられており、早期の歩道整備が求められている。 			
事業の有効性	事業の効果及び費用対便益等	<ul style="list-style-type: none"> ○ 歩道の設置により、通学路における歩行者・自転車の安全の確保及び円滑な自動車交通を確保する。 ○ バリアフリー構造の歩道とし、誰もが安心・安全で円滑に移動できる歩行空間を確保する。 			
事業の効率性等	コスト縮減代替案立案等の可能性及び良好な環境形成・保全	<ul style="list-style-type: none"> ○ バリアフリー構造の歩道として整備し、歩行者及び自転車の交通環境が改善される。 ○ 歩道を設置することで、歩行者・自転車及び自動車双方の交通環境が改善される。 ○ 二次製品の使用を促進しコスト縮減を図る。 			
総合評価		<p>本事業は、通学路における児童及び歩行者・自転車の安全性の向上を図るために、新規着手の必要がある。</p>			

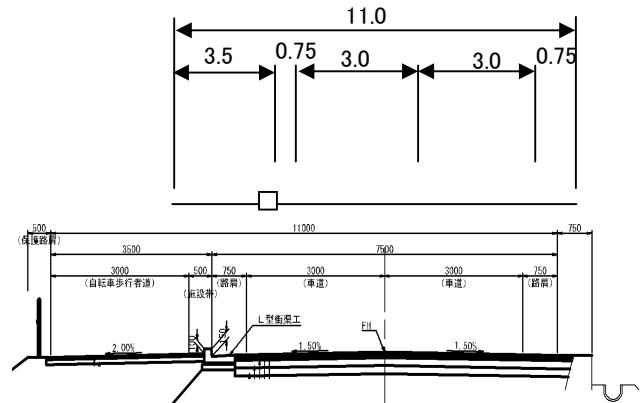
【位置図】



【現況横断図】(単位m)



【計画横断図】(単位m)



【現況写真】



通学路となっているが、歩道がなく生徒及び歩行者の安全が確保できていない。



幅員が狭く、自動車、自転車及び歩行者が錯綜している。

わ
『環』の公共事業構想ガイドライン評価シート

		作成年月日	平成29年 4月 28日		
		作成部署	建設交通部道路管理課		
事業名	主要地方道 舞鶴綾部福知山線 防災・安全交付金事業	地区名	綾部市私市町～福知山市私市 地内		
概算事業費	約2.1億円	事業期間	平成29年度～平成33年度		
事業概要	歩道整備 L=550m W=6.0(11.0)m				
目指すべき環境像	当該箇所は、由良川沿いの集落を中心とした田園地帯に位置し、緑豊かな自然に囲まれた地域である。そのため、現状の自然環境を維持するとともに歩行者の安全性に配慮するものである。				
関連する公共事業					
評価項目		施工地の環境特性と目標	環境配慮・環境創造のための措置内容	環境評価	
主要な評価の視点	選定要否				
地球環境・自然環境	地球温暖化(CO ₂ 排出量等)	施工地は、山と田園に囲まれた自然豊かな箇所であるため、これらの自然環境を維持・保全が必要となる。	施工地は、山と田園に囲まれた自然豊かな箇所であるため、これらの自然環境を維持・保全が必要となる。	3	
	地形・地質				○
	物質循環(土砂移動)				
	野生生物・絶滅危惧種				
	生態系				
	その他				
生活環境	ユニバーサルデザイン	当該箇所は、歩道が設置されていないため、安全な歩行空間を確保する必要がある。	バリアフリー構造の歩道を設置し、誰もが安全に通行できる歩行空間を整備する。	5	
	水環境・水循環				
	大気環境				
	騒音・振動	事業の実施により施工中騒音・振動の発生が予測されるため、発生を抑制する。	早朝や夜間の工事を極力避けるとともに低振動、低騒音の建設機械を使用する。	3	
	廃棄物・リサイクル				○
	化学物質・粉じん等				
	電磁波・電波・日照				
	その他				
	景観				現道周辺は、田園風景の広がる自然豊かな地域であるため、極力景観への影響を避ける。
里山の保全	○				
地域の文化資産					
伝統的行祭事					
地域住民との協働					
その他					
外部評価					